

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2018年5月
コンサベーション・インターナショナル



ココン州の3つの村から45人の住民が、ポーサット州で開催されたバットグアノ（コウモリのふん）製品とそのビジネスについての3日間のスタディツアーに参加（© CI/Photo by Narin）

2018年1月から3月にかけて、環境省と協力してパトロールと違法行為の取り締まりを行い、中央カルダモン国立公園の管理をサポートしました。生物多様性研究や、コミュニティの支援も行いました。

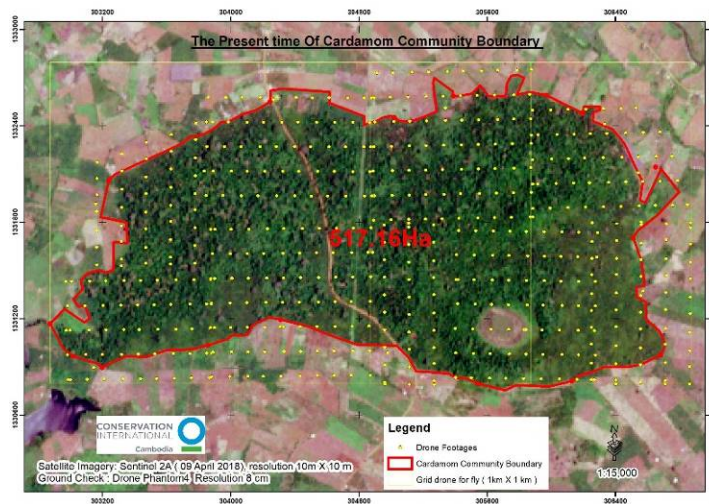
パトロールと違法行為への対応

今期は、のべ 106 回のパトロールを実施しました。その結果、135 本の丸太（約 40.25 立方メートルの木材）、2 台の車両、12 台のチェーンソーを没収し、90 個のわなを撤去しました。12 名に対して書面で警告し、違法な土地の開墾（約 2.5 ヘクタール）で 2 件を訴訟に持ち込み、違法に捕獲されていたニシキヘビ 3 匹を救出しました。

Koh Kong 州に、保護区の境界線を定めるポールを 9 本、設置しました。

Kampong Speu 州で開催された法的措置と訴訟に関する 3 日間のトレーニングと、Koh Kong 州で行われた他のトレーニングに、12 名のレンジャーたちが参加しました。

中央カルダモン国立公園のレンジャーたちが、O'Som 州での開墾の範囲を調べました。衛星画像（Sentinel 2A, 解像度 10 m X 10 m）と地上での検証、さらにドローン（ファントム 4、解像度 8 cm）を使用して行われました。517.16 ヘクタールを調査し、調査結果は環境省が保護が必要な場所を制定するための判断資料として使われました。



ドローンによって調査された 517 ヘクタールの画像

複数あるステーションのマネージャー達が参加する毎月の定例会議と四半期ごとに開催される会議が、環境省と Rolek ステーションで開催されました。会議では、過去の活動と課題を見直し、翌月の計画をたてました。マネージャーたちがお互いに情報を共有し、活動の調整をしあえる重要な会議です。



書面での警告とチェーンソーの押収の前に、違法伐採者に対して自然保護区法について説明
(© CI/Photo by Narin)



中央カルダモン国立公園のレンジャーが法的措置と訴訟についてのトレーニングに参加 (©
CI/Photo by Narin)



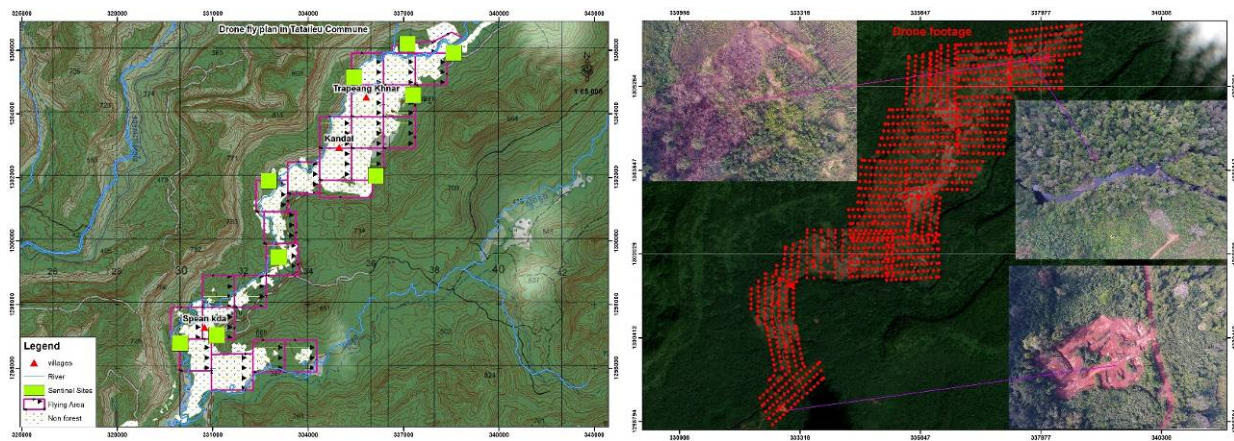
環境省と Rolek ステーションで開催された定例会議 (© CI/Photo by Narin)



中央カルダモン国立公園の O'Som 州の上空を飛行するドローンの準備 (© CI/Photo by Narin)

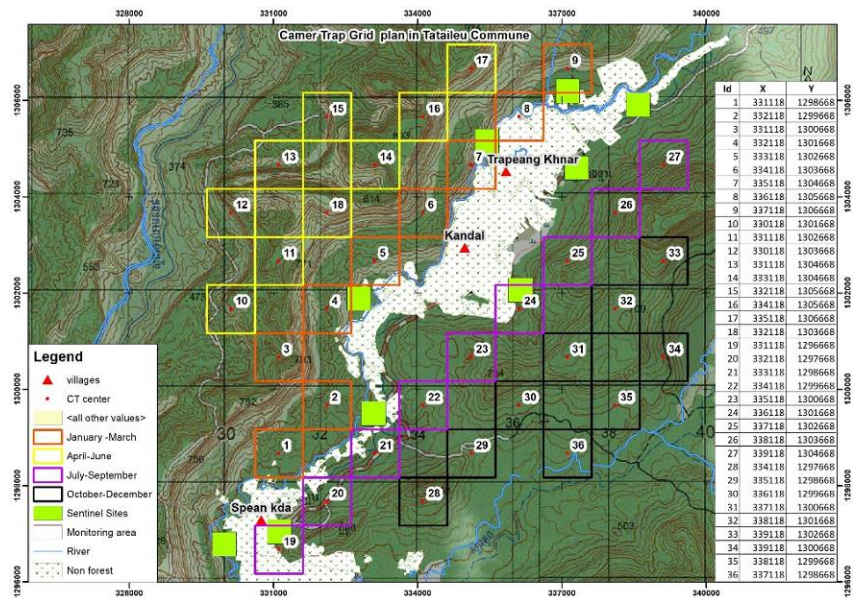
生物多様性の調査

監視サイト : Tatay Leu 村の 9 つの監視サイトで、レンジャーやコミュニティの協力のもと、生物多様性の基本データが定期的に収集されています。カメラトラップも仕掛けられています。左下の図は監視サイトの位置、右下の図は、ドローンの飛行計画を示しています。





ドローンによって Tatay Leu 村の上空で撮影された写真



格子になっているところにカメラトラップを設置 (Tatay Leu 村)



Tatay Leu 村に仕掛けられた最初のカメラトラップ

コミュニティの代替生計手段

アグロフォレストリー：Tatay Leu 村の住民が Pursat 州にあるコウモリの生息地を訪れました。30 年以上にわたってコウモリを保全し、フンから肥料を作ってきた経験を有する地域です。コウモリのふんによって収入を得たり、肥料として使用したりすることに対するコミュニティの意識を高めることを目的に実施しました。45 名（内女性は 22 名）が参加しました。



コウモリの保全とフンから肥料をつくる 30 年以上の経験を学ぶ 3 日間のトレーニング

アクイラリア（アガーウッド）の定期的なモニタリングが続けられています。来期には 2 回目の接種が予定されています。



アガーウッドの専門家が接種を受けた木を確認

非木材林産物 (NTFP) : NTFP の供給、テスト、調達、について民間事業者との調整が続いています。プノンペンの 3 つのレストラン、カンボジア料理研究所、NTPS の蒸留所ともコンタクトをとっています。レストランオーナーのグループと NTFP のバイヤーのグループが現地を訪れました。プノンペンにある製薬ラボに製品を送ってテストをしてもらいました。CCMNP で収集された樹脂のサンプルはシンガポールに送られ、バイヤーになる可能性があるところでテストする準備が進められています。ウコンやガランガル（ショウガ科の植物）のサンプルは、インドの 3 つの会社に送られました。ウコンの検査結果がよかったので、現在は価格交渉が進められています。



プノンペンのレストランの代表者たちがプロジェクトサイトを訪れ、作物や製品を視察

レモングラス : 1,600 ml のレモングラスオイルが作られました。地元の企業である Bodia が買い取り、コミュニティに 106 ドルの収入をもたらしました。

養蜂：養蜂の評価は非常によいです。



CI のパートナーである SCW (Save Cambodia's Wildlife) の養蜂専門家が、ココン州のプロジェクトサイトで養蜂の可能性のある地域の調査

エコツーリズム：Tatay Leu 村のエコツーリズムの管理について見直しが行われました。主なメンバーが来期に実施されるトレーニングを一足先に受けました。プログラムを調整するためにワイルドライフ・アライアンス (NGO) との話し合い、両団体のプログラムの連携に向けて前進することができました。ワイルドライフ・アライアンスがアジア開発銀行の助成を受けて実施している活動の一部を CI が支援するための話し合いも行いました。

また、州レベルでの計画・意思決定プロセスの統合に向けて、州の観光当局と環境局のとの会合を持ちました。彼らのエコツーリズムに対する理解と支援の意思を大きく向上することができました。また、プログラムを拡大発展させる方法を探るために、世界銀行との意見交換も行いました。

現在、1) 対象地で行われている農業システムの評価、2) コミュニティを対象とした優良農業技術のトレーニング、3) カルダモンの地理的表示 (GI) の認証についての契約の締結に向けて、地元の NGO と協議をすすめています。これらの多面的アプローチにより、農業生産能力が強化されるとともに、地理的表示を通じて地元資源の価値が向上する可能性もあります。

CI の地元パートナーである SCW (Save Cambodia's Wildlife) がマーケティングとエコツーリズムに関するトレーニングの必要性に関する調査を行いました。さらに、女性のリーダーシップおよび地域主導型企業開発 (Community Based Enterprise Development: C-BED) の 3 日間のトレーニングが行われました。このトレーニングには、コミュニティ林組合も参加しました。



マーケティングと Tatay Leu 村のエコツーリズムについての話し合い



女性のリーダーシップと地域主導型企業開発に関する 3 日間のトレーニング(Tatay Leu 村)

政府の技術部門との関係 :

Koh Kong 州で行われた環境省の技術職員との会合で、州環境局から Tatay Leu 村における生計手段とエコツーリズムの改善に関するアドバイスをし、現地訪問もしました。エコツーリズムのインフラの改善がアジア開発銀行からの助成金によって実施されています。



環境省の技術職員、Koh Kong 州環境局の職員、Tatay Leu 村のリーダー、コミュニティのメンバーが参加した、エコツーリズムの改善に関する会合と現場訪問。

パートナーシップ：

Tatay Leu村のための保全契約をすすめる一環として、参加型プロセスを実施し、コミュニティ、民間事業者、役所を含む組織的な体制が整備・強化されました。

ペンシルベニア州立大学と協力して、家計調査（HIES）が開発されました。調査から、影響の評価し、効果的にプロジェクトを見直し・実行するための重要なデータを今後得られるようになります。

リボルビングファンド（回転基金）を運用し、コミュニティが森林に害を及ぼさない約束をきちんと守るよう監督するための、監視委員会が設立されました。エコツーリズムやその他の資金源からの資金がリボルビングファンドの一部となります。



Tatay Leu 村で保全契約の締結に向けて協議が行われ、Koh Kong 州観光局、Thmar Baing 村の役人、Tatay Leu 村のリーダーたちが参加